

平成23 年度（ 22 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 23 年 5 月 10 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 741102	鳥獣捕獲等許可事務事業				主管課名	環境課				
	この事務事業 の位置	政策	その他				課長名	光岡 秀次				
		施策	その他（体系外）				主管係名	環境保全係				
		基本事業	その他（環境課）									
	(1)事業の概要											
	有害鳥獣駆除を目的とする鳥獣捕獲許可業務 法対象鳥獣59種 (許可申請の受理及び許可証の交付) 愛がん飼養を目的とする鳥獣飼養許可業務 法対象鳥獣のうち「メジロ」 (飼養許可証の交付、更新、許可証の再交付)					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						有害鳥獣捕獲等申請件数		件				
						有害鳥獣捕獲等許可証交付件数		件				
						有害鳥獣捕獲等従事者証交付件数		件				
					その指標							
(22年度に実施 した具体的なこ の事業のやり 方、手順等)		有害鳥獣の捕獲、駆除を目的に捕獲申請書の受理・審査・許可証・従事者証の交付を行う										
23年度計画	前年と同様 変更あり	▼		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市内の有害鳥獣 有害鳥獣捕獲等申請者					名 称		単 位					
					市内の有害鳥獣数		羽、頭					
					有害鳥獣捕獲等申請者数		人					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか) 有害鳥獣の数を減少させる					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
その指標					名 称		単 位					
					駆除された有害鳥獣の数		羽、頭					
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか) (空欄)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
その指標					名 称		単 位					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
(5)の 活動指標		件	2	4	2	2	2	2	2			
		件	2	4	2	2	2	2	2			
		件	24	24	22	22	22	22	22			
(6)の 対象指標		羽、頭	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000			
		人	3	3	3	3	3	3	3			
(7)の 成果指標		羽、頭	583	325	600	600	600	600	600			
(8)の結果の 成果指標												
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	04	項	01	目	05
(11)コスト		年度	21年度実績値	22年度実績値	23年度計画値	24年度目標値	25年度目標値	26年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	11	11	13	13	13	13	13			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	10	10	10	10				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	11	11	3	3	3	3				
人件費B		千円	280	259	259	259	259	259				
正職員従事時間×人数		時間×人	70×1	70×1	70×1	70×1	70×1	70×1				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0				
トータルコストA+B+C		千円	291	270	272	272	272	272				
単位あたりコスト		千円/羽、頭	0	0	0	0	0	0				
(トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	97	90	91	91	91	91				
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	741102鳥獣捕獲等許可事務事業			
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？		
	平成15年度			から		
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			特に意見はない		
県からの事務移譲により市が鳥獣捕獲等許可事務を執行するようになったため						
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？						
変化していない			変化している			
変化している			変化した内容			

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定事務ですか、それとも、自治(任意)事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定事務	→	根拠法令	法定事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
		自治(任意)事務	→	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	
				この事務を行う根拠又は理由	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定による	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
		結びつかない	→			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→			
		拡大	→			
		縮小	→			
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
	できない	→				
	追加	→				
	拡充	→				
	絞込み	→				
(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容			
	多少影響がある	→				
	影響はない	→				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	有害鳥獣捕獲に関しては、禁猟区などの制限があり市街地におけるカラス等への対応は困難な状況である		
	できない	→				
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？						
(7)類似又は関連する事業はありませんか？	ある	→	類似事業名			
	ない	→				
また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？			類似事業との再編の可能性	ある	内容	
				ない		
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
	ない	→				
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない	→				
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
	ない	→				
	現状で適正	→				
	検討が必要	→				
	受益者がいない	→				

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	有害鳥獣数は増加傾向であり、現在の状況を維持したい					